

## 教科シラバス（工業：情報電子科）

科目名	製 図	履修学年	履修単位	履修形態	授業形態
		1	2	必修	班単位
<b>使用教科書・副教材・準備物</b>					
電子製図（実教出版）、ノート、製図道具					
<b>科目の概要</b>			<b>学習目標</b>		
設計の基礎を学び、設計の重要性やCADソフトの使用法を学ぶ。			電子製図や各種規格に基づき、基礎的な知識と基本的な図面の書き方を理解し、手順に従い正確な図面を仕上げる技術を身に付ける。		
<b>年間学習プログラム</b>					
	<b>学習内容</b>	<b>学習のねらい</b>			
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製図用器具の使用について</li> <li>・数字、英字大文字・小文字、ひらがな・漢字の書き方について</li> <li>・線引きの練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製図用器具の確認と使用法について学ぶ。</li> <li>・数字や英字などと言った文字の書き方について学ぶ。</li> <li>・線の書き方について学び、その種類や用途について学ぶ。</li> </ul>			
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図の基礎について</li> <li>・投影図・三角法について</li> <li>・導波管・フランジ製作図</li> <li>・製図機械について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図の書き方を学び、図面の正しい見方や書き方を習得する。</li> <li>・投影図・三角法について学び、投影法と三角法を習得する。</li> <li>・導波管・フランジ製作図について学び、作図し、現在まで学んだことの復習をする。</li> <li>・製図室に行き、製図機械の使用法について学び、製図機械で導波管・フランジ製作図を書く。</li> </ul>			
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CADソフト「Jw-cad」について</li> <li>・CADソフトの使用 1</li> <li>・CADソフトの使用 2</li> <li>・CADソフトの使用 3</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CADソフト「Jw-cad」の使用法を学び習得する。</li> <li>・「Jw-cad」を用いて、簡単な図形の制作をし、更なる知識の向上を目指す。</li> <li>・「Jw-cad」を用いて、導波管・フランジ製作図を書き、高度なCAD技術を学ぶ。</li> </ul>			
<b>評価の観点及び内容</b>					
知識・技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種分野の製図に関する知識や設計技術が身につけており、能率よく作図できる能力が身に付いている。</li> <li>・各種製図用法についての知識を理解し、自ら作図できる技術が身に付いている。</li> </ul>				
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図面を作成する際は、機械製図や各種規格に基づいて、試行・判断して、正しく作図し表現できる。</li> <li>・電子製図に関して、基礎的・基本的知識を活用して、自ら考察を深め、適切に判断し、創意工夫する能力が身に付いている。</li> </ul>				
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械製図や各種規格に基づいて図面の作成について理解し関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。</li> <li>・電子製図の意義や役割及び知識や技術に対して関心・意欲があり、主体的に取り組むとともに、技術者としての望ましい心構えや態度が身に付いている。</li> </ul>				
<b>評価方法及びその他留意事項</b>					
上記観点ならびに評価方法を総合的に評価し点数を付ける。					